大阪市立大宮西小学校
Osaka city Municipal OMIYANISHI
Elementary school in Asahi ward

令和８年１１月４日

ご関係の皆様方へ

大阪市立大宮西小学校
校　長　原　雅　史

「主体的対話的で深い学び」のある授業づくり研究

大宮西小学校　第５回「全市公開授業」のお知らせ(２次案内)

（兼学力向上支援チーム事業研究授業）

晩秋の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。平素は本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

本校では、新学習指導要領が掲げる「主体的・対話的で深い学びのある授業（＝学び合い）」づくりを研究テーマに据えて、日々研鑽を重ねているところです。今夏もこのテーマで何回か公開授業研究会、研修会を開催いたしましたが、おかげさまで本当に多数の先生方にお越しいただき、貴重なご意見交換などを実施することができました（公開研修会授業感想　別紙参照）。まことにありがとうございました。

このたび、次の要領で今年度第２回目の全市公開授業を実施いたします。学校行事等でお忙しい時候かと存じますが、「主体的対話的で深い学びのある授業」の実践事例の１つとして、ぜひご見学いただき、皆様とともに学び合えますことを願っております。どうぞお気軽にご参加くださいますようお願い申しあげます。

１開催日時

・実施日　令和８年１１月１８日（水）
・中心授業　６年１組　教科：社会　明治の新しい国づくり　授業者：坂口　将駿
・スーパーバイザー　小畑　公志郎先生（元宝塚市立小学校校長）
著書授業づくりで子どもが伸びる、教師が育つ、学校が変わる
～「学校づくりセミナー」における「協同的学び」の実践など

２会場　大阪市立大宮西小学校（大阪メトロ谷町線「千林大宮駅」下車西へ８００ｍ）
大阪市旭区中宮１－８－１４電話６９５３－０８００

３公開授業時程（公開授業①②③では全クラスで公開しています）

9:00	9:35	10:20	10:40	11:25	11:30	12:15	13:25	14:10	14:30	15:20	16:20
受付	公開授業①		公開授業②		公開授業③	休憩	中心授業６年１組	休憩	研究協議	スーパーバイザー講話	

※公開授業だけでも、中心授業からでもご参加いただけます。昼食は各自ご準備ください。
※ビデオ（各校所有）撮影を希望される方は受付でおっしゃってください。研究用としてのみご利用いただき、ＳＮＳなどへのアップはおやめください。
※授業中は授業の妨げにならないよう、後ろ、前、横からのみご覧ください。（子どもの中には入らないでください）また、授業中児童には話しかけないでください。

４申込方法①後に掲載しています、お申込みQRコードでお申込みください。

②ｽｷｯﾌﾟ ﾒｰﾙ大阪市立大宮西小学校教頭鶴賀一也まで③ＦＡＸ別紙のFAX送信票でお申し込みください。

公開授業タイムテーブル

【2時間目】　　９：３５～１０：２０

年	組	授業者	場所	教科	単元名
３	１	山本	３－１	体育	健康な生活
５	サポート学級	香西	サポート５	図画工作	作品展の案内ボードをつくろう
３	２	中井	３－２	算数	表とグラフ

【3時間目】　　１０：４０～１１：２５

年	組	授業者	場所	教科	単元名
１	１	藤澤	１－１	算数	ひきざん（２）
６	サポート学級	目片	サポート3･4	自立活動	「二人で聴き合って考えてみよう」
２	２	森	２－２	道徳	わたしたちの校歌

【4時間目】　　１１：３０～１２：１５

年	組	授業者	場所	教科	単元名
５	１	岩木	５－１	総合	正しく聞きあおう
４	サポート学級	田中	サポート3･4	算数	たし算・ひき算
２	１	熊渕	２－１	国語	きせつの足音―あき

【5時間目】　　１３：２５～１４：１０

年	組	授業者	場所	教科	単元名
６	１	坂口	６－１	社会	明治の新しい国づくり

【研究協議】　　１４：３０～１５：２０　　２階　多目的教室

【　講話　】　　１５：２０～１６：２０　　２階　多目的教室

講師　小畑　公志郎　先生　（元宝塚市立小学校校長）

■大宮西小学校研修会・研究会・みんぐるの予定

下記の研修会、研究会は原則全て公開しております。参加を希望される先生は、上記同様本校へご連絡ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※みんぐる＝異学年交流探求型総合授業（１～６年の縦割り班で探究の学び合いを行います）

月	日	曜	全市公開	ビデオ研	公開研修会	みんぐる	講師	担当・授業者
4	1	水					校長	学び合いとは１
	2	木					校長	学び合いとは２（兼新転任研修）
4	22	水		1				ビデオ研６年２組算数
5	18	月		2				ビデオ研２年１組算数
	18	月				1		オリエンテーションチームポスター作製
6	9	火				2		ボードゲーム大会
	17	水	1				小畑 sv	全学級中心授業４年１組
	23	火				3		哲学対話
7	7	火				4		七夕まつり
	8	水		3				ビデオ研２年生、高学年
	24	金			1		校長	国語公開研修会「クワガタと少年」等
	27	月			2		校長 教頭	算数公開研修会「自動生成ＡＩ作製問題」等（兼旭区算数科主任会）
	28	火			3		校長	ボードゲーム公開研修会
8	21	金			4		校長	管理職対象公開研修会
	24	月			5		校長	社会科公開研修会「課題と資料」（兼旭区社会科主任会）
9				1		5		「遊びの広場」に向けて（８、１５日）
				4				ビデオ研５年生、３年生
	14	月						（特別授業公開）
						8		「遊びの広場」（異学年交流ブース型プレイランド）
10				21				ビデオ研１年生
11	18	水	2				小畑 sv	全学級中心授業６年１組
12				6				ビデオ研１年生、高学年
1				7				ビデオ研中学年、低学年
2	17	水	3				佐藤学 sv	全学級中心授業３年１組
3				8				ビデオ研

「主体的・対話的で深い学びのある授業」づくり（１２）（再掲）

「ふりかえり」どうしていますか？（再掲）

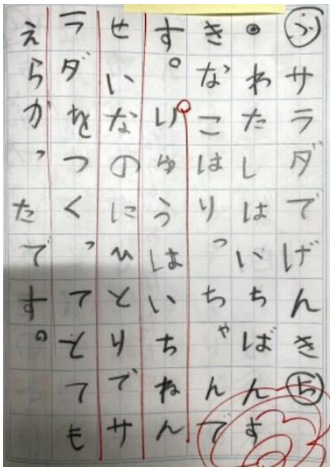
「主体多型対話的で深い学びのある授業」に向けての授業改革は、進んでいますか？

おかげさまで、今年も多くの学校で「主体的対話的で深い学びのある（＝学び合い）授業」づくりのお手伝いをさせていただいているのですが、「学び合いの授業をしてみたい！」という先生は本当に多いと、感じております。ただ、それらの先生の多くが、「具体的」にどうすればいいのかがわからないと、困っておられるのも事実です。

学び合いは方法論ではなく、教育哲学です。そのため、具体的な方法をご提案することは大変難しいものがあります。学び合いの哲学の糸口は、目の前の子どもをしっかり見取り、その子どもの中に眠る力を、どのように目覚めさせるのか、どうしたら教員ではなく、こども主体の授業をつくることができるのか、そもそも子どもにとって、学びとは何なのかなどを、授業者ご自身がじっくり考えて、学びの根本的なところを見つけていく…ことなどから、スタートされてはいかがでしょうか。なお私の研修会では、なぜ「主体的対話的で深い学びのある授業」をしなければならないのかというお話しや、すでに取り組んでいる先進校での実践事例の紹介、全国の優れた学び合いの授業ビデオを皆様と共有化…などをしながら、皆様と学び合いに対しての「心構え」を整えていくことぐらいしかできません。しかも、これらの情報が、そのまますぐに皆様の学校や学級にあてはめるのは難しいので、それぞれの学校の実情にあわせる必要があります。つまり、簡単にはできないということです。

しかし、このような困難な状況に置いて、少しだけ実践しやすい学び合いの授業の一例をお伝えできそうなところが見えてきました。それが、表題にも掲げています「ふりかえり」を行うということです。

「ふりかえり」ならいつもやっていますよ、という声も聞こえてきそうですが、私もかつては「ふりかえり」を軽視していた一人です。学び合いの授業における「ふりかえり」は、どれだけその時間をとることができるかということが、重要だと思います。私はかつて、授業の終わりに５分、少ないときは２分ぐらいしかとっていませんでした。今から思えば子どもに対して失礼なことをしていたかと、十分な振り返りもさせず、さらには文章を書くということを軽視していたことの証左だったと反省しています。



本校スーパーバイザーの小畑先生に「振り返りは最低でも１０分以上とらないとだめだよ」と教えていただき、それを実践したところ、全学年の教室で、子どもたちは本当にみごとな振り返りを書くようになりました。先日も小学校１年生の教室で、国語「サラダで元気」の授業のとき、残り１３分間の振り

返りの時間をとったところ、とても素敵な振り返りを子どもたちは書いていました。

振り返りを書いたあと、授業者はそれに目を通し、簡単なお返事を書きます。そしてできれば全員、紙面が足らない場合は一部の子どもの振り返りを切り抜き、張り合わせ「振り返り集」をつくります。次の授業の最初はその振り返り集を子どもに配布し、前時に何を学んだかを振り返ります。子どもは、他の子どもが何を、どのように学んでいたのかを知ることがとても好きで、配布されたものをものすごく集中して読んでいきます。また自分の振り返りがピックアップされているとさらに喜びます。そして「今日の振り返りが、明日選ばれるようにがんばって書こう」と振り返りの内容や、文字の丁寧さが日増しによくなっていきます。振り返りを丁寧にしていくことで、授業が一層深いものになっていくことを、子どもも授業者も体感できるかと思います。

このように、振り返りが学び合いの授業にもたらす効果はとても高いのですが、一点留意事項があります。それは、「振り返れる授業になっていたかどうか」ということです。やはり、講義一斉型の授業で、黒板の内容をノートに写すだけの授業では、十分な振り返りは難しいかと思います。友だちと聴き合いながら、自分の考えがその授業の中で成長していくことを、実感できているからこそ、振り返ることができると思います。

０分　振り返りを読み合う
５分　音読
１７分　線引き・書き込み
２２分　聴き合い
３２分　振り返りを書き合う

時間配分は、上記の１年生の国語の授業を例にしますと、上のような感じになろうかと思います。もちろん、取り扱う題材、教科によっては変わるかと思いますが、子ども主体の授業をつくるということは、教師が「指導」する場面はこれぐらい削ぎ落すことを視野に入れる必要があるということです。

本校でこの振り返りを重視するようになって、教員からこのような感想が聞こえてくるようになりました。「子どもたちが、本当によく書くようになりました。授業中に、自分の学びを書くということが、これほど効果が高いとは思いませんでした。」「子どもの振り返りを読むことで、児童理解が一層進んだと思います。授業中に子どもを見ているようで、見えていなかったことを感じています。」

学び合いの授業への第一歩、踏み出すのはなかなか難しいと思います。しかし、振り返りの時間を最低１０分とって、それを丁寧に読みこんで、児童・生徒理解を深めることからならば、わりと取り掛かりやすいのではないでしょうか？

大宮西小学校第５回全市公開授業参加お申し込みＱＲコード

できるだけ、このＱＲコードを使ってお申込みください。よろしくお願いします。

ＦＡＸ送信票

ＦＡＸ番号０６－６９５３－６７２８

全市公開授業・ビデオ授業研究会の申込参加申込書

送付先　大阪市立大宮西小学校
教頭　　鶴賀一也
ＴＥＬ０６－６９５３－０８００
ＦＡＸ０６－６９５３－６７２８

送付元	所属名（学校名）				
	ご担当者				
送付期日		各公開授業・研究会の２日前まで			
件名		全市公開授業・ビデオ授業研究会の申込			
参加者	職名	お名前	参加希望日		

【お問合せ先】
大阪市立大宮西小学校
（電話）06-6953-0800
教頭　鶴賀まで